

京の川の自然の恵みを活かす協働活動について

1 協働活動方針

- 学識経験者、農林漁業関係団体、行政の協働（京の川の恵みを活かす会）により、自然環境に配慮した鴨川の改修・整備に活かせる知見を得ることを目標として、調査・研究活動等を行う。
- 京都市都心部（三条～四条）でのアユ釣りの復活と、鴨川産アユの川床料理等での利用拡大を目指す。

2 平成23年度の活動と成果

- 都心部への天然アユ遡上を目指し、区間で最大の落差を有する龍門堰（伏見区下鳥羽）に仮設魚道を設置し、遡上状況を調査。

【成果】

- ・ 6月上旬を中心に、約2万尾の天然アユが魚道を通過し、四条大橋下流までの遡上を確認。

- アユの産卵状況を調査。

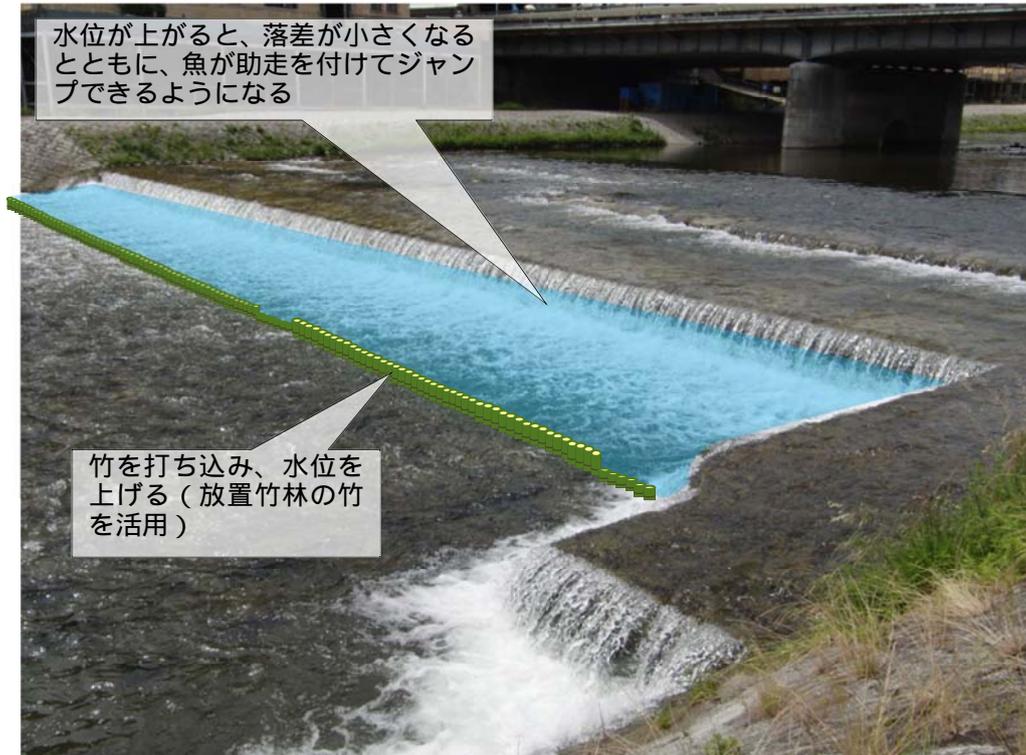
【成果】

- ・ 11月上旬に桂川（宮前橋上流）で抱卵アユを確認。

3 平成24年度の活動計画（案）

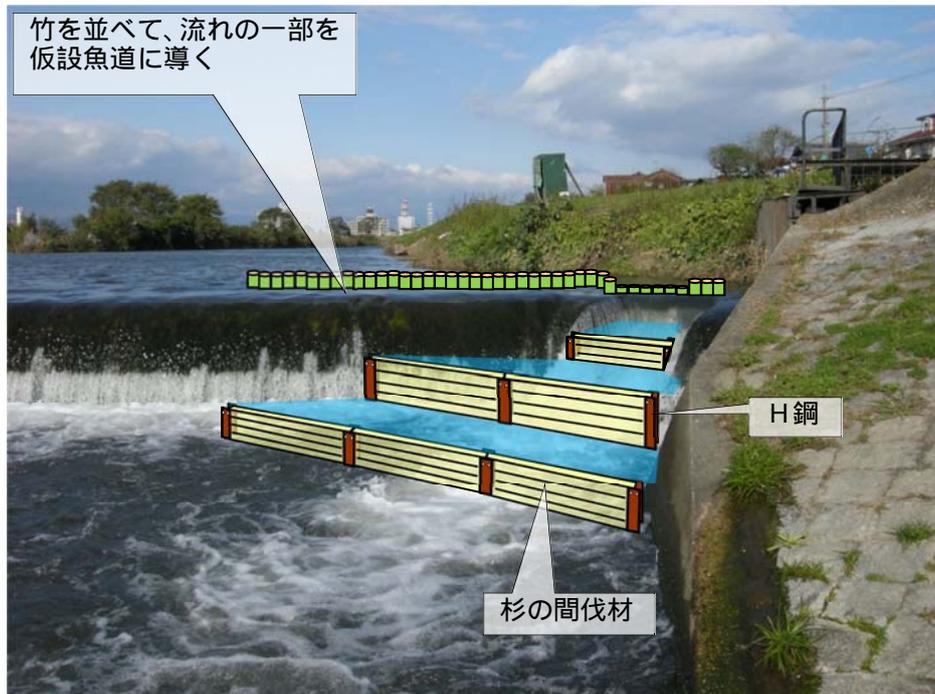
- 昨年度に引き続き龍門堰（伏見区下鳥羽）に仮設魚道を設置し、さらに四条大橋下流の落差に仮設魚道を新規設置し、天然アユが都心部まで遡上するか調査。
- 鴨川下流域に産卵場所をつくり、効果を検証。
- 遡上アユの観察会や調査結果の報告会などを開催。

仮設魚道のイメージ図



四条大橋下流 [新規]

昨年、ここまで天然アユが遡上



伏見区下鳥羽（龍門堰）[継続]

昨年、約2万尾の天然アユが遡上